

池高の四季（冬）

12月になると池田町にも雪が降り、池田山が美しく雪化粧をしました。中旬には低寒波の到来で気圧が発達して冬型の気圧配置となり、揖斐川町に大雪警報が出るなど、一部生徒が自宅待機になる状況もありました。年も明けて、三年生は卒業までの登校日数が残り二十日余りとなりました。寒さの中、生徒たちは頑張って勉強しています。



池田高校の中庭と北舎（南舎の渡りから撮影） 遠景に美しく雪化粧した池田山が見えます。



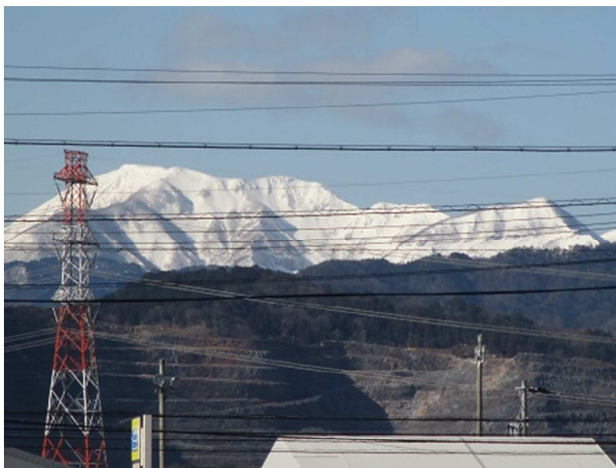
冬の寒さの中ですが、校内のあちこちで寒椿が多くつぼみをつけ咲き誇っています。(H27.1.14 撮影)



校舎から霧にむせる池田山を望む(H27.1.17 撮影)



↑校舎の正面の立派なクスノキの自転車道です。根元の花壇に11月に生徒たちが植えたクロッカスの球根が既に芽を出し始めています。冬の寒さに耐え、咲き頃は4～5月の予定です。
←業務専門職の臼井さんが毎日落ち葉を掃き校内をきれいにしていてくれています。(H27.1.19撮影)



神戸町からは池田山の奥に真っ白に雪化粧した伊吹山が見えます。東海環状自動車道（愛知・岐阜などの都市を環状に連絡し、広域的なネットワークを形成する延長約160kmの高規格幹線道路）の西回りが完成すると、池田への交通が大変便利になります。現在は予定区間に橋脚のみが設置されていますが、東京オリンピックの年、2020年度開通に向けて準備が進んでいます。(H27.1.18撮影)